

公立高校入試情報 大分県

【数学】

令和6年度大分県入試の全体傾向

- 大問数は6問、小問数は28問でほぼ例年どおり。
- 大問1は小問集合、大問2は関数と図形の融合問題、大問3は確率、箱ひげ図、大問4は連立方程式の利用、大問5は空間図形と相似、大問6は相似の証明を含む三平方の定理の問題であった。
- 大問4の連立方程式の利用は会話形式で、題材は新幹線の座席・旅館の部屋数についてで、身のまわりの問題からの出題。
- 関数と図形の融合問題や作図、図形の証明は毎年出題されている。

■ 実生活への活用力をみる問題の出題

- ・身近な題材について、方程式・関数・図形などの知識を使って考える問題がよく出題されているので、数学的に考える力を養っておく必要がある。

■ 証明問題の出題

- ・例年どおり、図形の証明問題が出題された。全文記述式の出題であるため、記述式の証明問題への対策が必要である。

★大分県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

		単元名／項目	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
出題内容別の傾向	1年内容	正の数・負の数	●	●	●	●
		文字と式	●			●
		方程式	●		●	
		比例と反比例		●		●
		平面図形	●	●	●	●
		空間図形	●	●	●	●
		データの分析と活用	●	●		
	2年内容	式の計算	●	●	●	●
		連立方程式		●		●
		1次関数	●	●	●	●
		図形の調べ方		●		●
		三角形		●		
		平行四辺形	●	●		
		確率	●	●	●	●
		データの比較と箱ひげ図			●	●
	3年内容	式の計算		●	●	
		平方根	●	●	●	●
		2次方程式	●	●	●	●
		関数 $y=ax^2$	●	●	●	●
		相似な図形	●	●	●	●
		円の性質	●	●		
		三平方の定理	●	●	●	●
		標本調査				
出題形式別の傾向	大問数		6	6	6	6
	小問数		29	27	26	28
	記述問題	図形の証明(説明)	1	1	1	1
		その他の説明・証明など	2		1	1
		立式・解法の過程の記述		1		
		作図(図形)	1	1	1	1
		作図(グラフ)	1	1		